

# 理研シンポジウム 第19回 分析・解析技術と化学の最先端



日時：2018年12月18日(火) 12:55 - 17:30

会場：鈴木梅太郎記念ホール（和光市広沢2-1）

協賛：日本化学会, 日本農芸化学会, 日本薬学会

理論と実験で切り拓く分子構築・機能創出

内山 真伸（東大院薬, 理研）

質量分析による材料分析を加速するデータ解析技術  
～装置の特徴を活かすソフトウェア開発

佐藤 貴弥（日本電子株式会社）

Si-Cl 結合切断を基軸とするクロロシラン類の触媒的分子変換反応の開発

中島 裕美子（産総研）

Recent Progress of High-resolution Solid-state NMR: Applications to  
Misfolded Amyloid-beta Proteins and Graphene-based Systems

石井 佳誉（理研RSC, 東工大生命理工学院）

Lipid Peroxidation-mediated Modifications to Biomolecules:  
Mass Spectrometry-based Mechanistic Study and Selective Screening

李 宣和（東北大院薬）

植物生態系を紡ぐ香り化合物の代謝を介した相互作用

松井 健二（山口大院創成科学）

参加費：無料 意見交換会：17:50 - 広沢クラブ（会費4,000円, 学生2,000円）

参加申込・問合せ先：国立研究開発法人理化学研究所 環境資源科学研究センター  
技術基盤部門 分子構造解析ユニット  
越野広雪 E-mail : [koshino@riken.jp](mailto:koshino@riken.jp)